

みんなでなくそう痴漢被害！

護身術教室inいちあま第2回

防犯活動ボランティア活動報告

私たち3名は「令和6年度あまらぶチャレンジ事業 ジュニアコース」に参加して、女性の防犯対策に取り組んでいます。痴漢被害に遭った経験があり、性犯罪に腹立たしく悔しい思いを持っていたため、被害を減らす活動について取り組もうということになりました。

対策の1つとして、市立尼崎高校柔道部顧問高橋先生、柔道部員の方々にお願いをし、2月8日(土)の15時00分から、北館3階セミナー教室で地域の方々対象の護身術教室を開いていただきました！

まず、柔道部顧問 高橋先生から

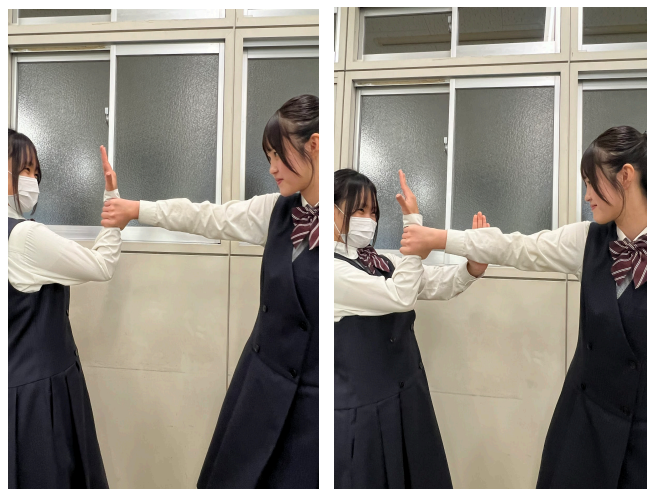
- ・痴漢被害はいつ起きるか分からないという意識を持ち、常に気を付けておくことが大切！
- ・護身術は相手と戦うためではなく、自分を守って急いで逃げるために最終手段として使うもの

という心得をお話していただきました。





①相手に両腕をつかまれた時に、ごめんなさいのポーズから相手を振り払う方法



②相手に片腕をつかまれた時に、私かわいい！と手鏡を見るポーズから相手の腕を払う方法

③おしりを触られた時に、指をつかんで相手を後退させる方法



これらの技を習いました。

地域の方々含め、25名の方が参加してくれましたが、みんな楽しみながら技を覚えられた様子で、

「少しの力で相手を倒すことができたので、この先も使えそうだなと思いました。同い年の子たちがここまで大きなプロジェクトを運営していることにすごいと思いました。」

「私自身は、そのような被害にあったことはありません。しかし、ニュースをたびたび聞いていたりしているので身近には感じているつもりです。いざ被害にあった時を考えると、頭が真っ白になってしまうのかもしれないです。そんなときに今回の護身術教室のことを思い出して少し落ち着きながらパニックにならないようにしたいと思いました。」

「性犯罪は警察署の方々もおっしゃってたように、いつ自分の身におこるか分からないものなので今日護身術を学ぶことができて本当によかったです。一度被害に遭うと一生の心の傷として残るので、できる対策はしていきたいと思います。」

などの私たちにとってもすごく嬉しくありがたい感想をいただきました。

私たち自身もとてもためになったので、護身術教室の開催にご協力してくださった方々に心より感謝申し上げます。今後も尼崎市がより安全な街になるよう、精一杯活動をしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

